

研究課題名	心肺停止患者への胸骨圧迫に対するrSO2計測の有用性に関する研究
研究機関名	武蔵野赤十字病院、京都大学大学院
研究責任者	所属 救命救急科 氏名 安田 英人
研究期間	平成26年11月 ～ 平成29年1月
研究の意義・目的	院外心停止患者に対して無侵襲脳局所酸素飽和度 (rSO2; Regional Cerebral Oxygen Saturation) 値を計測し、心肺蘇生中の動脈圧変化とrSO2変化の相関性を検証し、その変化と予後の関係も合わせて検討することにより、心肺蘇生中のrSO2値モニタリングの有用性を検証することを目的とする。
研究の方法 (対象期間含む)	<p><b>1. 適格基準</b></p> <p>18歳以上の院外心配停止患者のうち、来院時心停止状態であり、蘇生中に動脈圧モニタリングを実施した患者。</p> <p><b>2. 観察・検査項目とスケジュール</b></p> <p>院外心肺停止患者を救急外来内に収容後、近赤外線分析装置を用い前額部にセンサーを貼布する。貼布するだけで身体には侵襲なく測定可能である。</p> <p><b>3. 研究期間</b></p> <p>1) 研究登録期間：倫理審査委員会の承認後から2年間をめどとし、予定症例数に達するまでとする。 2) 観察期間：研究登録終了後90日後まで</p>
個人情報の取扱い	<p>1) データは連結可能匿名化により扱い、研究機関外の者が研究対象者を特定できる情報（氏名・住所・電話番号等）は用いない。主任研究者等が研究で得られた情報を学会や論文等で公表する際には、研究対象者が特定できないよう十分に配慮する。患者データを含む電子ファイルは、研究参加者ならびにデータ解析を担当するデータマネジメントセンターが、パスワードをかけた電子ファイルで保管し、データ送信時には暗号化通信、または親展で郵送する。</p> <p>2) 患者もしくは親族より研究参加したくない旨の申し出があった場合、該当するデータは破棄し、解析には用いない。</p>
問合せ先	<p>当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 救命救急科 氏名 安田 英人</p> <p>TEL：0422-32-3111（代表）6813（事務局内線） FAX：0422-32-3525</p>